

【日 時】 2006.09.02

【県 名】 鳥取県

【沢 名】 来見野川(扇ノ山山域)

【ル ー ト】 諸鹿-来見野川-大鹿の滝

【メンバー】 石野・大塚・玉田・木倉・大本

【装 備】 沢登り道具一式

【天 候】 晴れ

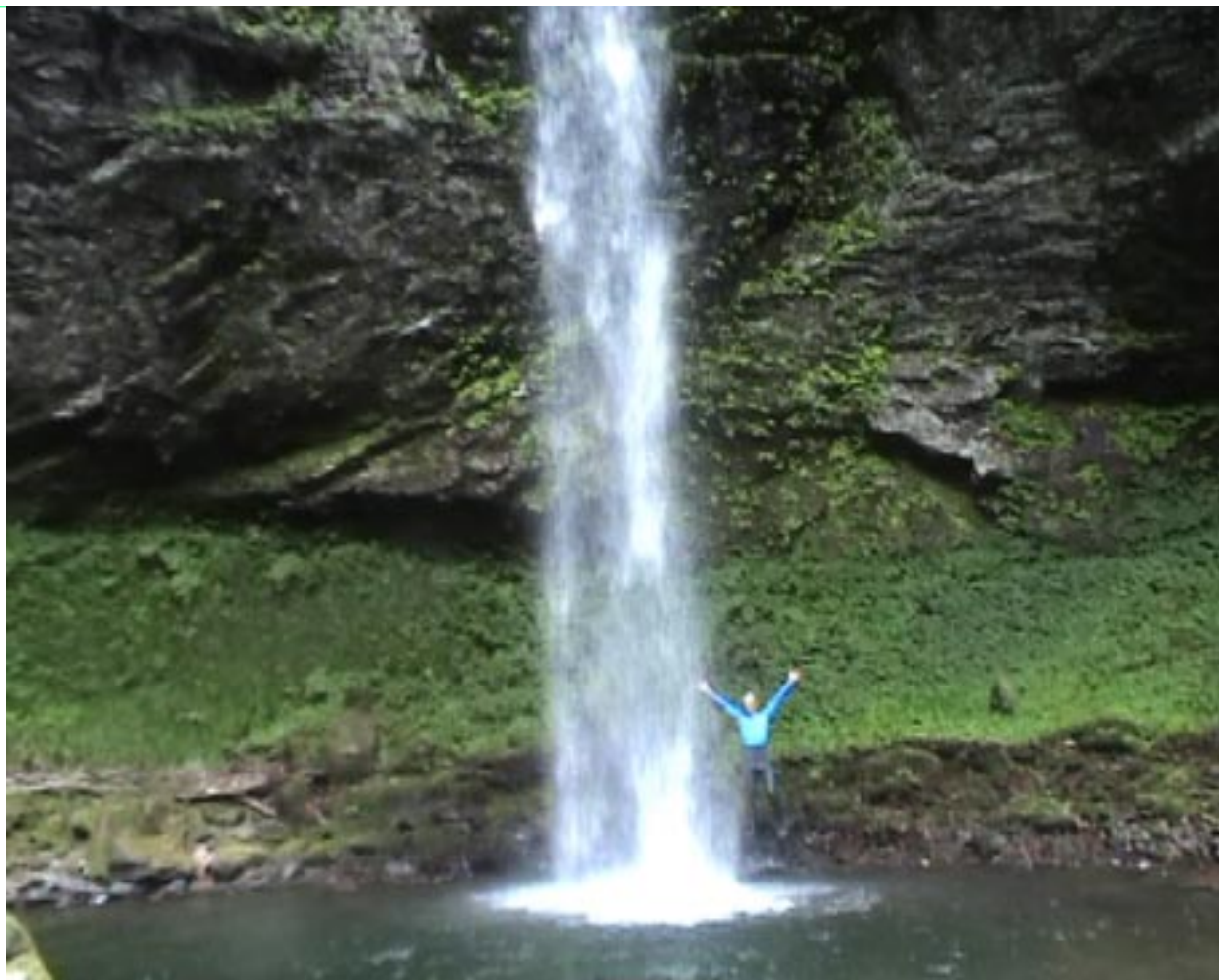
先週の万ヶ谷に続いて今週は扇ノ山山域の来見野川に入渓した。

諸鹿の村を通り抜けて橋の手前で駐車。
この沢はいきなりの泳ぎがあって股裂でスパイダーマンのように落差7mの滝をシャワーを浴びながら登らねばならないのでフルウエットに身を固めた。

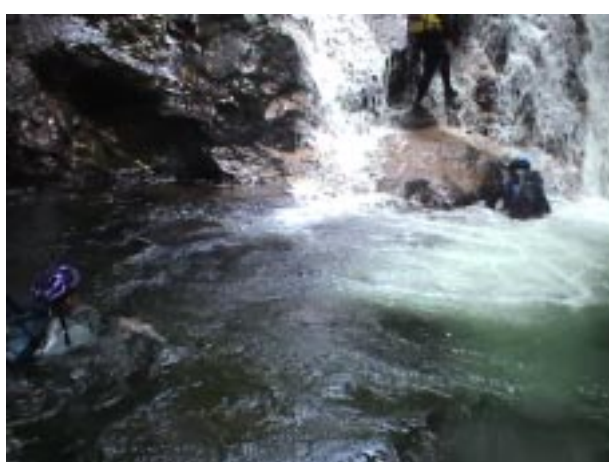
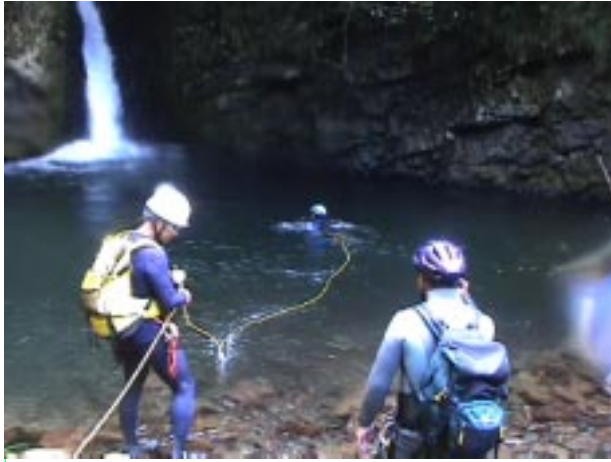
林道を20分ほど歩き堰堤が見えるところで沢に降りて入渓。その堰堤を左から巻いて遡行して行くと15m幅の淵がいきなり出現する。その正面に落差7m 80°くらいのシャワーがゴォーと音を立てている。しばしその光景に見入り、若手の大本くんがフルウエットでザックを置いてザイルを腰に巻き付けて正面の滝を目がけて泳いで行く。まず右側の壁に取り付き、足がかりを探るが深くて間にあわない。しかたなく手を上に伸ばしギリギリの手がかりで体を引き上げて足がかりをゲット!。ここからは体を大の字にして三点指示でスパイダーマンのようにシャワーを股下に落としながら慎重に登っていく。

早速セルフビレーを取ってもらいザイル確保で次々と登っていく。トップとセカンドでは雲泥の差で緊張もなく楽しめる。クライミングと全くに同様なのである。

この来見野川はこの一発をクリアすれば後は楽しく遡行できて、進んで行くと30mの二股の滝や大鹿の滝を眺める事ができる。当然にこの2つの大滝は高巻きである。



落差 35 mの大鹿の滝





二股の滝地点



高巻き



大鹿の滝上部



ヒラタケ